



「安心・元気・ときめきの皆野づくり」

皆野町長 石木戸 道也

あけましておめでとうござい
ます。

町民の皆様方におかれましては、ご家族おそろいで輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。常日頃から町政進展のためご指導ご支援をいただき厚く御礼申し上げます。昨年、日本選手が大活躍のリオ・オリンピック、パラリンピックが開催され、埼玉県縁の選手のメダル獲得に県民は歓喜に沸きました。

明るい話題として、大洲地区の「前原の不整合」を始めとする古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群が国指定天然記念物に指定されました。

明星保育園等における保育料においては、町で3,700万円余を上乗せ負担しまして、県下で最も低い保育料となっております。

新年度におきましても、健全な財政運営を念頭に、全ての分野の安全・安心をベースにした子育て支援策、元気で長生き対策、安全・快適な環境整備、学

賀正



「安心で安全な笑顔あふれるまち」をめざして

皆野町議会議長 大澤 径子

明けましておめでとうござい
ます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。皆さまには、町政発展のため日頃から多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。私が議長に就任し、早くも10か月が過ぎようとしておりますが、新しい年を迎え、その責任の重さをあらためて感じるとともに、皆野町のさらなる発展のために、引き続き努力

してまいりたいと決意を新たにしております。

さて、昨年の、ブラジルのリオデジャネイロで開催された、オリンピックでは、金12個、銀8個、銅21個の計41個のメダルを獲得し、メダル獲得数では史上最多となりました。パラリンピックでも、銀10個、銅14個の計24個のメダルを獲得するなど、日本選手団の活躍と、正々堂々と競技に挑む姿は、人々に勇気、感動、笑顔を与えてくれました。

一方、昨年4月に発生した熊本地震では、震度7が観測史上初めて連発したことに加え、内陸型地震としては最多ペースで余震回数を更新するなど、再び「想定外」という言葉が繰り返し使われる事態となりました。

更に開かれた議会をめぐってまいります。将来の人口減少・超高齢社会に向けた「持続可能なまちづくり」「安心で安全な住みやすいまちづくり」の実現に向け、子育て支援、防災対策など、町当局とともに取り組んでまいります。